

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	4
➤ JRRN 会員募集中	6

## JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

### 小さな自然再生普及プロジェクトー 第14回「小さな自然再生」現地研修会 in 釧路川流域 座学研修講演動画 オンデマンド配信開始のご案内【期間：2/7（月）～3/7（月）】

2021年11月28日（土）に北海道釧路市内で開催しました『第14回「小さな自然再生」現地研修会 in 釧路川流域』の午前座学の講演動画オンデマンド配信を2月7日（月）午後より開始しました。

昨年11月の研修会は、イトウやシマフクロウ等の希少種保護の観点から、現地での自然再生活動に携わる産官学民の関係者限定で開催させて頂きました。しかし、全国より研修会への参加要望を頂きましたので、午前座学における全8つの講演につきまして、各講演者の了承を得た上で、1か月間限定でオンデマンド配信をさせていただきます。

道東地域における自然再生の様々な取組とともに、今後の自然再生の目指すべき方向性について学ぶことができますので、たくさんの方々にご視聴頂ければ幸いです。

- ◆配信期間：2022年2月7日（月）～3月7日（月）
- ◆参加費：無料
- ◆配信URL:

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1266.html>

#### ◆CPD 認定申込：

本プログラムは、土木学会継続教育(CPD)の認定（2.2単位）を受けております。CPDを希望される方は、証明書発行のための課題の提出をお願いしておりますので、配信期間中に、以下のCPD申請用ページよりお申込みください。

【CPD 申込ページ】

<https://forms.gle/WZFrtPq1LcVbbcpy7>

(JRRN 事務局・和田彰)

### <オンデマンド配信 プログラム>

- 【開会挨拶】 神田房行：釧路自然保護協会 会長……………(約6分)
- 【基調講演】 これからの自然再生の目指すべき姿  
中村太士：北海道大学大学院農学研究院 教授／釧路湿原自然再生協議会 会長 ……(約20分)
- 【講演】
- ① 小さな自然の再生大きな役割（三橋弘宗：兵庫県立大学自然・環境科学研究所／兵庫県立人と自然の博物館）……………(約18分)
- ② シマフクロウ保護と河川環境の関わり（竹中健：シマフクロウ環境研究会）……………(約18分)
- ③ 道東におけるシマフクロウ等希少鳥類の生息環境整備の取り組み（北橋隆史：環境省釧路自然環境事務所）……………(約10分)
- ④ 美幌町で取り組む様々な魚道づくり（町田善康：美幌博物館）……………(約12分)
- ⑤ 知床で鮭が自力で川をのぼれる環境を復活させたい！（森高志：斜里町水産林務課）……………(約20分)
- ⑥ 午後の釧路川支川自然再生事業の概要紹介（野本和宏：釧路市立博物館）……………(約12分)
- ⑦ 午後の現地研修内容説明と工法説明（岩瀬晴夫：株式会社北海道技術コンサルタント）……………(約16分)
- 【閉会挨拶】 土屋信行：日本・河川流域再生ネットワーク 代表理事……………(約6分)

## JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

## 「桜のある水辺風景 2022」写真募集のお知らせ【予告】

**今年も大募集！！**

JRRN では、毎年、国内の「桜のある水辺風景」の写真を募集しております。これを機会に皆さんがもっと水辺の美しさに触れて、さらに水辺と人々との関わりについて考えるきっかけになれば嬉しいです。

**撮ってすぐに投稿！！**

ハッシュタグ「[#桜のある水辺風景 2022](#)」をつけてインスタグラムへ投稿してください。

**撮影時期は問いません！過去に撮影された写真も受け付けます。** 思い出の写真や、うまく撮れた写真に撮影時期やコメントをつけて投稿してください。

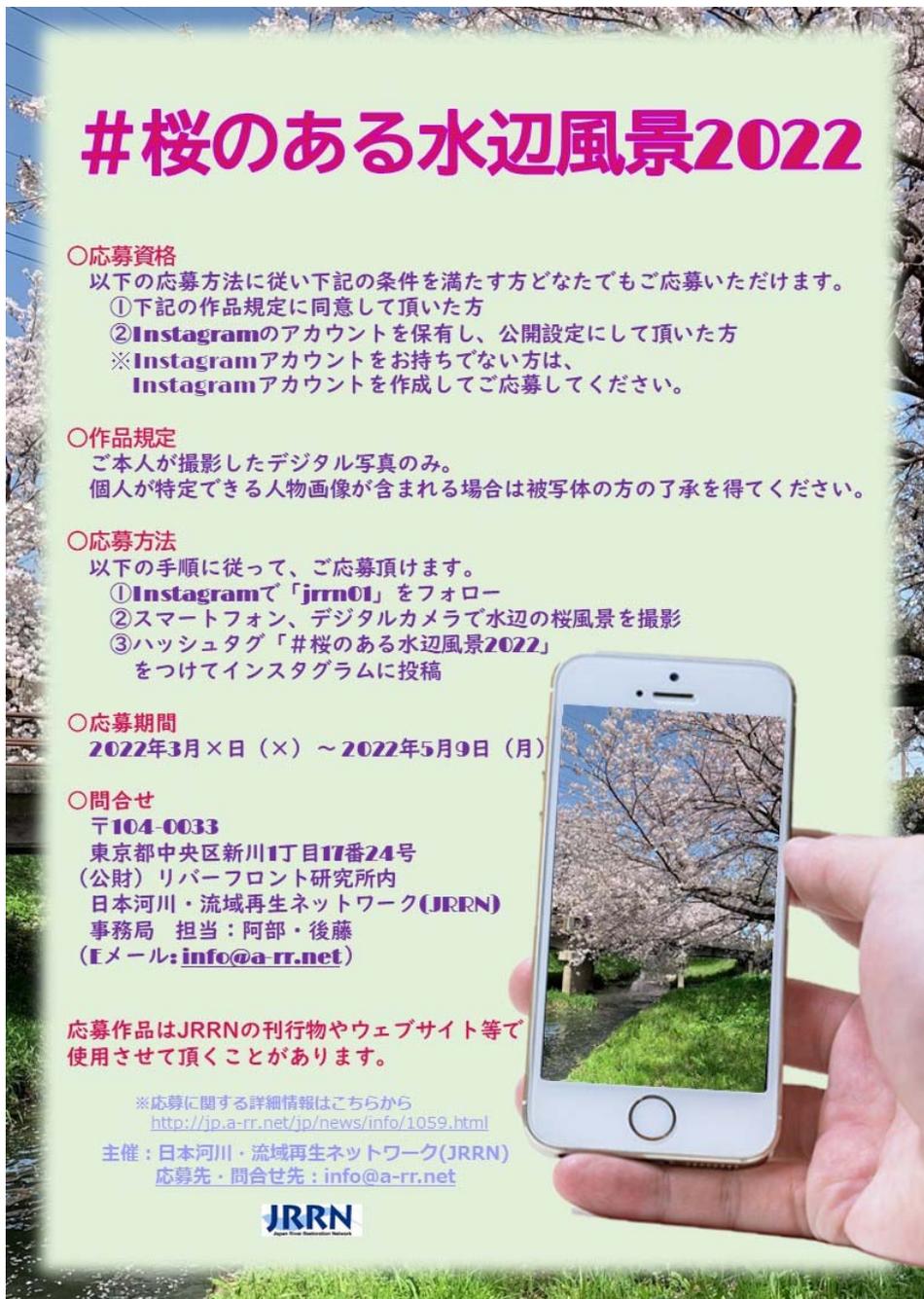
応募開始時期は3月の予定です！！次回のニュースレターで正式にアナウンスします。

応募方法の詳細は下記のチラシをご確認ください（変更の可能性あり）。

3度目のコロナ禍の桜の季節が予想されます。撮影の際は、感染症対策に十分ご配慮願います。

皆様のお気に入りの「桜のある水辺風景」を教えてください。貴方の投稿写真がバズるかも・・・。

(JRRN 事務局・後藤千佳子)



## #桜のある水辺風景2022

○応募資格  
以下の応募方法に従い下記の条件を満たす方どなたでもご応募いただけます。

- ①下記の作品規定に同意して頂いた方
- ②Instagramのアカウントを保有し、公開設定にして頂いた方

※Instagramアカウントをお持ちでない方は、Instagramアカウントを作成してご応募してください。

○作品規定  
ご本人が撮影したデジタル写真のみ。  
個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。

○応募方法  
以下の手順に従って、ご応募頂けます。

- ①Instagramで「jrrn01」をフォロー
- ②スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景を撮影
- ③ハッシュタグ「#桜のある水辺風景2022」をつけてインスタグラムに投稿

○応募期間  
2022年3月×日(×)～2022年5月9日(月)

○問合せ  
〒104-0033  
東京都中央区新川1丁目17番24号  
(公財)リバーフロント研究所内  
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)  
事務局 担当：阿部・後藤  
(Eメール: [info@jrrn.net](mailto:info@jrrn.net))

応募作品はJRRNの刊行物やウェブサイト等で使用させて頂くことがあります。

※応募に関する詳細情報はこちらから  
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1059.html>

主催：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)  
応募先・問合せ先：info@jrrn.net

**JRRN**  
Japan River Regeneration Network

## JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

## あらぶる雨・めぐみの雨「雨展」が九州の8会場で開催中

JRRN も企画運営に協力する『あらぶる雨・めぐみの雨「雨展」』が、九州地方整備局主催、水の巡回展ネットワーク企画制作により九州地方でシリーズ開催されております。

身近な存在の「雨」ですが、時には猛威を振るい、私たちの暮らしに大きなダメージを与え、一方で、私たちの暮らしには欠かせない水を供給し、日々の生活を支えています。

本巡回展示では、「雨」に関する様々な展示物を通じて、水災害に関する知識、また河川環境保全の大切さを学ぶことができますので、お近くにお越しの際には是非お立ち寄りください。

【主催】九州地方整備局

【企画制作】水の巡回展ネットワーク

【協力】NPO 法人気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミュース、東京学芸大学環境教育研究センター、東京学芸大学グラフィックデザイン研究室、日本河川・流域再生ネットワーク、九州産業大学芸術学部メディアラボ 331 他

【展示内容】インタラクティブ映像、雨量計、標本ジオラマ、防災グッズ、記録映像 等

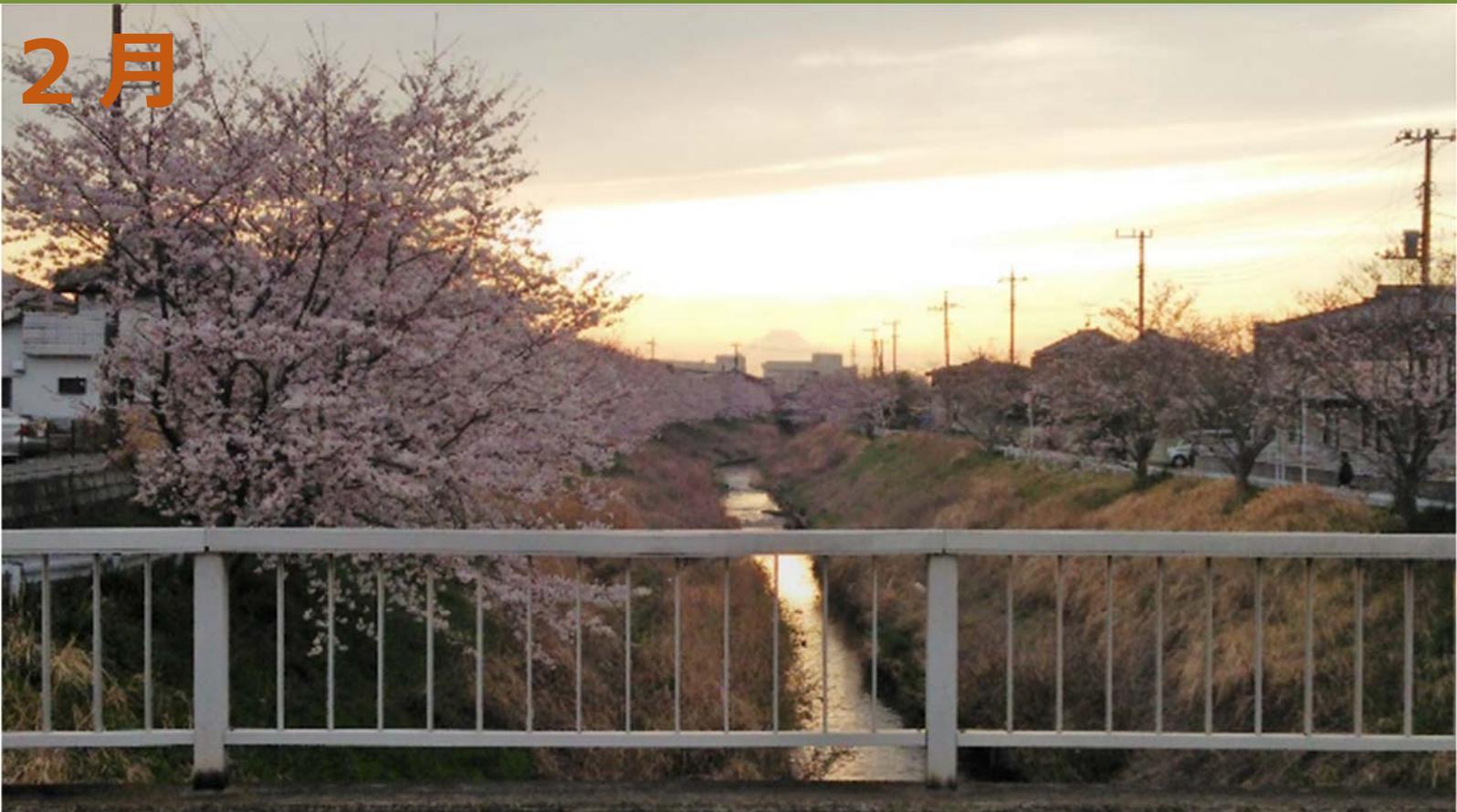


## 【九州での展示会場及び展示期間】

- ① **【終了】 筑後川防災施設 くるめウス** (住所:福岡県久留米市新合川1丁目1-3)  
展示日時: 令和4年1月15日(土)~1月25日(火) 9時30分~17時※月曜休館
- ② **【終了】 嘉瀬川防災施設 さが水ものがたり館** (住所:佐賀県佐賀市大和町尼寺 3247)  
展示日時: 令和4年1月29日(土)~2月8日(火) 9時30分~17時※月曜休館
- ③ **大野木場監視所【愛称:大野木場砂防みらい館】** (住所:長崎県南島原市深江町戊 2100-1)  
展示日時: 令和4年2月12日(土)~2月23日(水) 9時~16時30分
- ④ **白川地域防災センター【愛称:白川わくわくランド】** (住所:熊本市中央区東子飼町 8-55)  
展示日時: 令和4年2月26日(土)~3月8日(火) 9時~16時30分※月曜休館
- ⑤ **鶴田ダム管理所** (住所:鹿児島県薩摩郡さつま町神子 3988-2)  
展示日時: 令和4年3月11日(金)~3月22日(火) 10時~17時※土日祝日閉庁
- ⑥ **資料館 五ヶ瀬川リバーバル** (住所:宮崎県延岡市牧町河口付近埋立地内)  
展示日時: 令和4年3月25日(金)~4月5日(火) 9時~16時30分※火曜休館
- ⑦ **ななせダム管理庁舎** (住所:大分県大分市大字下原 1546-4)  
展示日時: 令和4年4月8日(金)~4月19日(火) 10時~17時※土日祝日閉庁
- ⑧ **遠賀川地域防災施設 遠賀川水辺館** (住所:福岡県直方市溝堀 1-1-1)  
展示日時: 令和4年4月22日(金)~5月10日(火) 10時~17時※月曜休館

(JRRN 事務局・和田彰)

2月



## あの日のあの川 リレー日記 ～第60話～



あの日のあの川  
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

### 第60話主人公 三森彩音

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(■川ガール・□川系男子)

(出身地を流れる川：千葉県小櫃川・矢那川)

### 「日常の中に」

いつのこと？： 幼少期～高専生

どこの川？： 千葉県矢那川

皆さんこんにちは。筑波大学白川研究室の三森彩音です。実は宇佐美君からバトンを受け取ったとき、書けるようなエピソードは何かあるかと悩みました。畑の用水路でやごや小魚を捕まえたかどうかと思うくらいです。しかし記憶をたどると、いくつかの思い出の中に地元を流れる矢那川が出てくることに気づきました。今回は矢那川に関する小さな思い出を3つ書きたいと思います。

3つの思い出のうち、一番幼い頃の思い出は鯉を眺めたことです。赤い鯉、白地に赤や黒の鯉がいる中で、金色の鯉がゆったりと泳いでいたことを覚えています。いつのことか思い出せないけれど、ふわふわとして何となく心が暖くなる思い出です。母に聞いてみると、どうやら小学生になる前の思い出らしいとわかりました。私は幼い頃、2～5歳児が公園に集まって遊ぶサークルに入っていて、その帰りに何度か矢那川の鯉を覗いていたようです。公園では砂場遊びや追いかっこをしていたらしいのですが、

まったく思い出せません。ただ、矢那川の鯉を思い出したときに暖かい気持ちになったのは、きっとそれが楽しい思い出だったからだと思います。

それから月日が過ぎて、私は地元の高専に通うようになりました。高専とは高校と大学のような学校で、中学校卒業後の5年間で高校の勉強や理工系の専門科目を学びます。卒業後は就職や大学への編入のほか、さらに2年間高専に通い専攻科で学ぶという選択肢もあります。私は矢那川にかけられた橋を通過して、自転車で高専に通っていました。一つ目の思い出に登場した橋よりも少し上流にある橋です。この橋から川をのぞき込んでも鯉は見かけませんでしたが、慌ただしい朝や疲れた夕方でも季節を感じさせてくれる場所でした。春には桜、夏は草木が青々と茂り、秋には木の葉が色づき、冬は寂しげな雰囲気を感じました。雨の後には濁って水嵩を増す矢那川が日々の変化を気づかせてくれましたし、夕日が美しい日には自転車を降りて景色を眺めることもありました。たまにスマートフォンで写真を撮りましたが、上手く写せずに大抵すぐ消してしまっていました。今回のリレー日記の冒頭の写真は、いつもと一本違う通りで帰った時に撮ったためかたまたま残っていた写真です。私は専攻科まで通いましたので、7年間矢那川を渡っていたこととなります。けして特別な思い出ではありませんが、ふとしたときに矢那川の景色が心を慰めてくれたように感じます。

三つ目の思い出は高専生のときの生物調査です。私は高専で主に土木や環境について学ぶ学科に所属していました。授業の一環として矢那川の上流に行き、川の生物を調査しました。川に入って網で生き物を捕まえたり、石をバットに移して生き物をピンセットで捕まえたりしました。捕まえた生き物を顕微鏡で見ると、図鑑に照らし合わせて名前を調べました。薬品で色が抜けたためか、だんだんと可愛く見えてきたような記憶があります。種類の判別や考察は大変でしたが、今思えば良い思い出です。

大学院進学に伴い地元を離れ、22歳まで近くにあって矢那川からも離れて2年ほど経ちました。4月からの就職に備えた引っ越しでも地元に戻ることはありません。しかし実家に帰るたびに矢那川を渡りますから、きっとこれからできる思い出の中にも矢那川があることでしょう。もしかしたら年を重ねることで、新しい視点で矢那川を見れるようになるかもしれません。皆様がよく通りがかる川はありますか？ふとしたときに眺めてみると、何か思い出したり、少し心を軽くしてくれたりするかもしれません。ちょっと疲れた時にでも、このリレー日記を思い出して近所の川の風景を眺めていただければ幸いです。

長々と書いてしまいましたが、最後までお付き合いいただきありがとうございました。

(次は安藤ひなたさんにバトンを託します)

## JRRN 会員募集中 JRRN membership

## ■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

## ■ 会員の特典

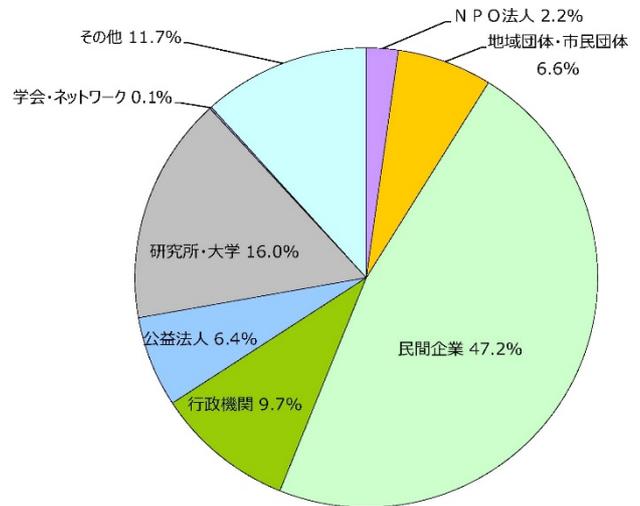
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

## ■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2022年1月31日時点の個人会員の所属構成  
(個人会員数：826名、団体会員数：62団体)  
※1月の新規入会数：個人会員0、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

## 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3860 Fax:03-3523-0640 E-mail: [info@a-rr.net](mailto:info@a-rr.net)

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>